



平成 19 年 8 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社ラックランド
代 表 者 名 代表取締役社長 望月 圭一郎
(コード番号 9612 東証第 2 部)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 大竹 隆一
(TEL 03-3377-9331 (代表))

平成 19 年 12 月期 中間期・通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 12 月期 (平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日) の中間期・通期業績予想について、平成 19 年 2 月 23 日付け当社「平成 18 年 12 月期 決算短信 (非連結)」において発表いたしました平成 19 年 12 月期 中間期・通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

なお、配当に関しましては、当初計画とおり期末配当金 15 円 (年間配当金 15 円) を予定しております。

記

1. 平成 19 年 12 月期中間期業績予想の修正 (平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)
(単位: 百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	6,900	—	57	32
今 回 修 正 (B)	6,064	52	76	41
増 減 額 (B - A)	△836	—	19	9
増 減 率	△12.1%	—	33.3%	28.1%
前中間期 (平成 18 年 12 月中間期) 実績	7,351	260	286	184

(注) 「今回修正」欄は実績数値であり、詳細につきましては本日 (平成 19 年 8 月 3 日) 発表の「平成 19 年 12 月期 中間決算短信 (非連結)」をご参照ください。

2. 平成 19 年 12 月期通期業績予想の修正 (平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)
(単位: 百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	16,000	—	400	225
今 回 修 正 (B)	15,000	380	400	225
増 減 額 (B - A)	△1,000	—	—	—
増 減 率	△6.3%	—	—	—
前期 (平成 18 年 12 月期) 実績	14,649	425	468	202

3. 修正理由

(1) 中間期業績予想の修正理由（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日）

【売上高】

大型受注案件（大型家電量販店からの内装監理業務から飲食フロア全体のテナント幹旋・店舗設備施工の受注）の引渡日が 6 月下旬から 7 月上旬に延期となったこと、及び出店用地不足や賃料上昇の理由から主要顧客のチェーン企業等の新規出店数が出店計画数を下回っていること等により、売上高は 6,064 百万円と前回予想（平成 19 年 2 月 23 日発表）と比して 836 百万円（12.1%減）の減少となりました。

【経常利益】

大型受注案件の引渡延期等により売上高は前回予想を下回っておりますが、選別受注による当社計画比での粗利率向上、及び諸経費節減の継続実施により、経常利益は 76 百万円と前回予想と比して 19 百万円（33.3%増）の増加となりました。

【当期純利益】

上述の理由により、当期純利益は 41 百万円と前回予想と比して 9 百万円（28.1%増）の増加となりました。

（注）文中の業績数値は実績値であり、詳細につきましては本日（平成 19 年 8 月 3 日）発表の「平成 19 年 12 月期 中間決算短信（非連結）」をご参照ください。

(2) 通期業績予想の修正理由（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

【売上高】

主要顧客であるチェーン企業等の出店用地不足・賃料上昇等による新規出店の計画比減少傾向の継続、及び粗利率向上のための選別受注の推進による受注高の減少により、通期の売上高は 15,000 百万円と前回予想（平成 19 年 2 月 23 日発表）と比して 1,000 百万円（6.3%減）の減少となる見込みであります。

【経常利益】

売上高は上述の理由による前回予想比減少を見込んでおりますが、選別受注の実施による当社計画比での粗利率の向上、及び店舗施工の各工程における作業の内製化による外注委託比率の逡減、並びに諸経費節減の継続実施に努め、経常利益は前回予想と同額の 400 百万円となる見込みであります。

【当期純利益】

上述の理由により、当期純利益は前回予想と同額の 225 百万円となる見込みであります。

以上